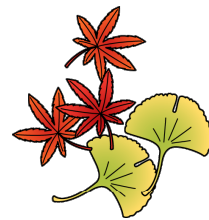


# 気づき、考え、実行する さし人つうしん

唐津市立佐志小学校  
学校だよりNO.15  
令和4年10月27日  
文責：校長 松野克己

## いろいろな体験活動や教室に取り組んでいます

季節は最も過ごしやすい時期を迎えています。今、各学年ごとに様々な体験活動をしたり、外部から専門家を招いての〇〇教室を行っています。簡単にご紹介します。



### 4年生社会科見学



10月6日(木)、4年生がバスで社会科見学に行きました。この費用は唐津市で負担していただけます。ありがたいことです。見学地は毎年、北波多にある清掃センターや久里浄水場、唐津浄水センターです。つまり、生活する上で不可欠な施設を見学します。事前に社会科の授業でそれぞれの施設の役割や仕組みを学習した上で見学をしますから、施設に対する理解が深まりますし、そこで働く人の大変さや喜びに触れることもできます。

今回の学習を通して、子供たちがゴミの分別をより意識したり、水のありがたさを感じたりと、自分の生活を見つめ直す機会になってくれたら生活に関連付いた学習となります。

### 2年生芋掘り



10月11日(火)に2年生は多目的グラウンドの一角にある畑で芋掘りを体験しました。今回も佐志校区の民生児童委員さんのお世話で実施できました。雨があまり降らなかった時期があったためか、台風の塩害か、今年は昨年度ほどの実りはありませんでしたが、それでもたくさんのサツマイモを収穫できて、子供たちは大喜びです。「いっぱい出てきた!」「これ、でっかい!」と声を上げて夢中で芋を見つけ、掘り出していました。

今、こういう体験がなかなかできなくなっています。つくづく地域のご協力のおかげだと感謝しています。民生児童委員のみなさん、本当にありがとうございました。

### 佐志八幡獅子舞



これは、体験活動というより、地域の伝統行事といった方がいいでしょう。今年も10月17日(月)に佐志八幡の獅子舞が学校に来てくださり、子供たちの頭をかみかみしてもらいました。これはかんでもらうことで御利益があるからと言われていました。子供たちの中には何度も並んで、4回、5回と頭をかんでもらう子もいれば、遠巻きに見ているだけの子もいました。まあ、強制するようなものでもありませんし、それでいいと思います。

この佐志校区では、この佐志八幡宮の他に金比羅神社の春期例大祭や夏越祭、秋季大祭がありますし、唐房祇園祭といった行事もあるようです。コロナの影響で実施が難しいところもあるようですが、このような地域の行事は、子供たちの郷土愛にもつながっていきます。



子供たちが大きくなっても続いているといいですね。



## 6年生いじめ防止教室



10月20日(木)、6年生がいじめ防止教室を行いました。今回の講師は、長江さんという方で、職場は法律事務所、つまり現役の弁護士さんです。子供たちはその流暢な話しぶりに圧倒され、聞き入っていました。ネットの書き込みとといったいじめの事実は決してなくなることや、大人がやったら犯罪となることなどを熱くお話されました。中でも印象深かったのが1981年に起きた鹿川くん葬式ごっこ事件といういじめ自殺事件を元に、いじめはいじめの側といじめられる側の思いに大きなギャップがあり、からかいが命に関わることにつながるといってお話でした。お話の最後に質問コーナーがありましたが、子供たちは次々に質問を重ねました。「何をしたら死刑になるのか」「どうしたら死刑を免れるのか」といった死刑に関する内容が多く、なんとなく「死刑回避教室」に流れていったようでした。

## 4年生手話講座



再び4年生の話題です。10月25日(火)に手話講座を行いました。講師は聴覚障がいをもつ坂本和也さんと、手話通訳をくださった松尾えり子さんです。実は、この坂本さんは30年以上前に、私が当時勤務していた名護屋小学校の児童で、彼も覚えていてくれました。最初に、小学生の頃の話をしてもらいました。まだ、当時は特別支援教育がなかったため、彼は通常学級に在籍しており、他の子とまったく同じ学習をしていました。国語の時間、先生がどこを読んでいるかを、口元の形を見てつかもうとしていたこと、リコーダーのリズムは先生や友達が息を吸ったり吐いたりするときに頭が微妙に動くのを見てつかもうとしていたこと、運動会では、ピストル音が聞こえないので、となりの子の動きを見てスタートしたことなどを話してくれました。その後、簡単な手話を教えてもらい、最後はジェスチャーゲームをしました。聴覚障がいや手話への理解を深めることができました。

## 3年生クジラ教室



10月26日(水)には、5年生の海洋教育でもお世話になっている玄海水産振興センターの梅田さんに来ていただき、3年生のクジラ教室をひらきました。説明の中で子供たちはクジラと魚の違いやハクジラとヒゲクジラの違い、捕鯨の歴史、捨てるところのないクジラの利用法などを聞きました。3年生にはとても難しい内容もありましたが、子供たちはよく聞いていました。

私が子供の頃はクジラの竜田揚げは給食の定番でしたし、カレーも肉の代わりによくクジラを使っていました。脂身が飲み込まず、ガムのように噛んでいたことも覚えています。冷凍クジラも大好きでしたし、学校で肝油の販売もあっていて、お菓子代わりにたくさん食べて叱られたこともありましたね。クジラが生活に溶け込んでいた時代でした。

※まだこのような活動が1ヶ月ほど目白押しです。次号でもお知らせします。



第68回

読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。

青少年読書感想文全国コンクール

地区特選 5年 濱口りく 「りんごの木を植えて」

6年 早瀬あかり 「生死とは」

地区入選 1年 谷河かのん 鶴のぞみ 2年 古賀れい 山口ここ 古賀ゆな

4年 古賀とき 6年 中塚ねね

